

増刊 HSK NPO 法人 「文福」 ニュース ❀



NO.280

冒頭の一言

(6)

皆さん、やっと9月に入り体力が消耗される心配が無く、思いっきり「ア・ツ・イーツ」と言ってもいい季節となりました。まあ、真夏だったら考えてみれば 30 度越えの真夏日になるのは当たり前。立秋は確かとうの昔に過ぎて 9 月になったはずなのになかなか涼しくなりません。私は熱中症になってしまいました。個人的な事情がありました。エアコンが全然効かなかったのです。電気屋に見てもらったところガスがなかったのと、中にたっぷりと埃が詰まっていたことが原因でした。ガスを入れて、埃をとってもらったところ、たちまち電気復活じゃなかった、冷氣復活しました。こんな私が言うのは何ですが、皆さんたこ足配線とクーラーの埃には気をつけましょう。ちょっと暑すぎて他に書くことが思いつきません。涼しい秋が来ることを期待しながら、毎月発行に戻す事になった障ちゃんニュースを楽しんでください。じゃあね～。

—もくじ—

冒頭の一言 … 1	「障」ちゃんニュース毎月発行のお知らせ … 2
文福総会 記念講演会報告 その1 … 3-5	
ザ★カイジョの感想 … 6-7	運営会議報告 … 8-9
視覚障害者向け「障」ちゃんニュースメール配信新規会員募集 … 10	
今後の予定 … 11	ありがとうコーナー … 12

一九九四年八月四日第三種郵便物承認
工
大
不
郵
四
回
二
回
一
三
、
五
、
八
、
一
〇
、
一
三
、
一
五
、
一
八
、
二
十
、
二
三
、
二
五
、
二
八
日
発行

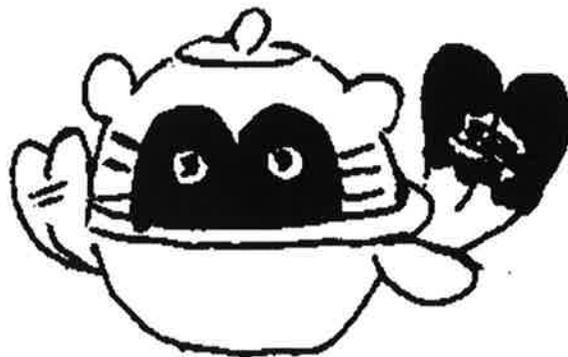
「障」ちゃんニュースこれから毎月発行へ

いつも「障」ちゃんニュースを読んでいただき、ありがとうございます。

コロナ禍などで2ヶ月に1回発行していましたが、コロナが5類扱いとなり、会員を増やすにはどうしたらいいかという話が出て、話し合いをしました。そこで、やはり2か月に1回発行を続けると行事が終わってしまっているものもあり、今後は新しい情報などを伝えるべきだということで、ページ数が少なくても、毎月発行した方が良くという意見があり、毎月発行する方向で進めることになりました。

今後とも皆さまに楽しんでもらえるような紙面作りを目指していきたく思いますので、よろしくお願い申し上げます。

「障」ちゃんニュース編集委員一同



第 21 回 NPO 法人文福総会 記念講演会報告 その 1

6 月 10 日に第 21 回文福総会がサンフォルテ 308 号室で行われ、午後から「今も続く差別に立ち向かおう！！」をテーマに富山福祉短期大学 国際観光学科 教授 鷹西恒氏をお招きして講演会を行いました。

鷹西さんも身体に障害を持っておられ、自身が経験されたことや文福スタッフが経験されたことなど、制度の話もふまえていろいろなお話をして下さいました。

講演内容を数回にわたり掲載します。

開口一番ですが「みなさんに会えて良かったです」と言います。新型コロナウイルス感染症が始まったときに、いろんな報道でかかったら命が無いぞと・・・。

この講演のサブタイトルに共生社会を目指してって書いたんですけど、よく「共生、共生」って言われていますよね。最近では多様性の理解とか、いろいろ言われていますが、差別は今もこれからもあると感じています。障害者差別解消法パンフレット等は QR コードになっていますのでよろしくお願ひします。

今回の法改正ですが、大きいところでは合理的配慮の提供があります。これまで民間事業所は“努力義務”だったのですが、これが義務に変わります。話が急に変わりますが、大阪城に行かれたことある人はいますか？あそこはエレベーターが付いているんです。名古屋城にもエレベーターが付いていますね。この名古屋城の天守閣が古くなった。建て替えしなきゃいけないことになりました。「次の新しく作る天守閣は史実どおり木造でつくる」これが市の答えでした。これまでエレベーターで天守閣に登れたのに登れなくなることを意味します。これは差別だ、

人権侵害だと、こんなふうに乗っているんですね。その中で最近話し合いがあったのですが、その時に河村名古屋市長がいらしたんです。ある委員さんが「そんな障害のある方は登れなくても仕方ないんじゃないか」とか、「そういう人たちにまで配慮するのはどうか」という風に発言があったのっですが、それを何も注意せず無視した形で話を進めていった。その話し合いの中に車椅子の当事者の方もいたんですよ。全国の障害者に関わっている人たちの間では大きな話題になっていることですね。

今から 20 年ほど前でした。愛知の学生さんで 電動車いすに乗っておられる方がいて、「夜 10 時に電車に乗りたいです。」と電鉄会社に言ったら、その時間に職員が対応できないと拒否された事例がありました。電車を止めてデモ抗議しようという話になって 電車を止める役を頼まれそうになりました。名古屋の障害ある人をお願いしたら良いのに名古屋の人が死んだら問題になるから、あんだ富山だからと笑いながら頼まれたんですけど、あれは半分本気でしたね。結局電鉄側が対応することになって解決したので事なきを得ました。

それから、去年ですかね、新聞記事です。射水市のほうで銭湯の風呂に入れなかった。

(以前に O さんが銭湯に入りたいのに銭湯側から拒否された。そのことが新聞記事で取り上げられて鷹西さんもその記事を見ておられた。O さんの姿を見て) ああおられた。お会いできてよかったです。皆さんこのニュースは知っておられますか。西山弁護士と私のコメントが載っているのですが、弁護士さんは「障害者に配慮した対応をして、利用を認めなければならない」と、私は「正当な理由を説明していないと差別に当たる」と書きました。(入湯拒否の件で O さん K b o さん N さんが県に訴えた。) 県から正当な説明をうけられましたか? K b o さんからは「正当じゃない説明は受けました。合理的配慮と特別配慮は違うと。今回だけって言うのではない。なるべく対話をしながら、摩擦がないようにすればよいが、なかなかそうはうまくはいかない。」必ず何か言ってくる人はいると。

私自身の経験で言われて腹が立ったのは、「車椅子バスケットボールで体育館を貸してほしい」そしたら「床が傷つくからだめだ」というのがありました。大会も行われているのだからおかしいですよ。これはその時の管理者の考え方なのでしょう。事業所と一緒にやる事業だったので、施設職員がみな怒ってね。どうしたかといったら、市長のツイッターに匿名でふざけるなとか、もっとノーマライゼーションを理解してくれと書いてくれたりしました。そしたら急に「よいですよ」と。その後どうなったかわかりますか? 「床に傷がついてないかしっかり見ますからね」

って言われました。別に車いすバスケじゃなくても傷はつきますよね。自分も職員さんと一緒に傷がついてないかしっかり見ました。そして何事もなく終わりました。その市はどこかいいませんが、トイレも扉の鍵が壊れており、しっかり直してくれと言っておきました。まだまだあります。川崎バス乗車拒否事件。(映像を見せる) 思い出したくないかもしれないけど、覚えておられますか? みなさんのだいぶヤングでナウい時代ですね。今見てもらいましたけど横たわっていた人は押し倒されたりしながらバスと揉めてた。身を呈して世の中を変えようという、そこまでしないと世の中変わらない現実です。そういう時代だったんだと。高度経済成長期と言うので大卒の初任給は 1 年で倍になった。銀行に預けたら 2 倍になるので、ローンを返すのが楽だったそうです。

画面に差別とはなにかって書いてありますが、私も学校で働いてますけど、こんな気持ちになることもありますよ。この気持ちを最初に感じたのは建設会社に働いていた時ですかね。忘年会が 2 回あるんです。1 回目は私も出て、私を呼ばずに 2 回目が有る。段差にあるところとか、カラオケ店とか。私には言われないし、誘われもしなかった。今から思えば、仕方ないなと。今から考えれば差別ですよ。2 人で飲むとか 3 人で飲むとかはいいんですよ。私抜いて全員行くっておかしくないですか?

あと、男女でいうと、女性だというだけでなにか下に見られたことありませんか? 私は子供のころですけど、出席簿の読み方は男

が先、女があとじゃなかったですか？ちなみに富山福祉短大ではあいうえお順でした。

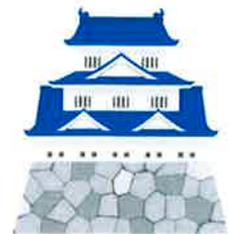
あと人種ですね。たまたま「国際観光学科に異動して下さい」と言われて、もともとバリアフリーやっていたので、将来の観光人材の育成に生かしてほしいと。今、担当しているのがフィリピンの人とか、中国の人とかなんですが、彼らに聞いたらやはり外国人だと言うことで相手にされなかったり、呼ばれなかったりすることがあると。みなさんもどうですかね、尖閣諸島とか。中国の船がいっぱいきたと聞けば、あの人らは悪人だと思いませんか？これはつまり偏見なんです。私もそういう気持ちが少しはあるんですけど、中国の方などはそういう気持ちはないんですね。やっぱり実際に外国人と話してみたり、会ってみたり、交流する経験をしている人はそういう見方をしないんですね。

画面に小さく書いてある、アパルトヘイト。南アフリカ共和国では人種で差別していた。白人と黒人で住む場所も使う場所も違っていたらしいんです。日本でいうと部落差別。そこで生まれたと言うだけで似たようなことになる。

差別には3つあるといわれています。直接差別。「あんたはあっち行かれ」とか。意図的に障害者を排除する。意識がなかったのかもしれない。次が間接差別。意図はないが無知で結果として差別される。うちの短大の図書館2階にありまして、私はほとんど行かないからいいんですが就職して15年間はエレベーターがついてなかったです。だからそのことを他の先生方がこういう差別をなくさ

ないといけない、早くエレベーターを付けた方がいいと言ってくれました。自分でもお願いして司書の人に言えば届けてくれる仕組みを作ったのでとくに困ることはなかったです。ちょっと余談ですが、たこ焼き屋に車で行って、電話すれば届けてくれる仕組みもつくりました。但し、できたてすぎて火傷しました。

今の短大はエレベーターがついています。差別解消法ができる前につきました。車いすの学生の入学が決まったらすぐにつきました。図書館に行けたからといっても皆さん困りませんか？上のほうは届かないですよ。本が好きの人だとこれ違うなとなったら戻したい。これを介助の人に10回とか20回やったら怒りますよね。私はそれがあるので結局は同じです。最初からほしい本を言えばいいんですけど、でも本って中を見ないと分からない場合があるんです。Kwaさんみたいにインパクトがある本だったら表紙ですぐ読みます。体系的な差別。ある市の老人福祉センターのお風呂に最近まで、精神に障害がある人は入れませんって看板がありました。それが残っていると言うので撤去したこともありました。



〈次号に続きます。〉

ザ★カイジヨの感想

前号でザ★カイジヨの報告をしましたが、受講された方々より感想をお寄せ下さいました。ありがとうございます。ここに原文のまま掲載させていただきます。

《基礎課程》

・ 介助を行う際、「～します。」と一言声を掛けてから行うこと。出来る限り利用者のペースを配慮し、行いたい。

食事や入浴、トイレ、起床、就寝それぞれにおいて、個々人に合ったやり方があるので、本人に確認しながら進めること。

・ 八木氏や福田氏、東京で、はじめに施設を出て地域で暮らした方、その後も行動をおこした方々は、障害者の福祉とサービスが少しずつかわっていく中を当事者として生きてこられ、障害者が自立した生活をおくるために力をそいでこられたことを知った。(中略)

重度訪問介護では、重度障害者が自己決定、自己責任で人生や自分のしたいことを社会にでて実現していくことであり、社会の一員として、自立できるようになることである。

・ 介助を受ける事のストレスを理解するということを学んだ時、介助される側は 1 人で暮らすと決めた時から、ずっと他人と共存した生活を送るわけで、私達と同じように、体調が良い日もあれば、何となく気分が乗らない日もあるということだと思いました。それでも介助を受けなければならないのだから、そのことを理解し、ゆったりした気持ちで介助しなくては…と感じました。

《追加課程》

・ 障害といっても多岐に渡り色々な症状、種類があり沢山の方が障害を持って生まれている事を知った。今まで障害についてテレビ等でしか知識がなく、こんなにも障害の症例があること、介助する上での注意点を学ばせてもらった。実習で行った食事介助では、障害を持った側の立場で「食事の度にこんな不都合で恐い思いをしていたのか…！！」と衝撃を受けた。自分が何気無くしている行動も、立場が変われば危険な行動になってしまう…ここも改めて意識しなければいけないと思ったし、これは今迄も感じて来た事だが、自分の生きている世界が、いかに障害者にとって生きにくい社会なのだと思います。

・ 訪問実習では、今までの講義についてのお話しや、私が素朴な疑問として思っていることを沢山お話しさせていただき、とても勉強になりました。例えば、訪問介助を受ける時間数に個人差があることや、障害者宅へのリフォームなどの補助金の制度があることを教えていただいたり、排せつの仕方を実際に見せていただいたりしたことが貴重な時間となりました。料理や掃除だけでなく、見守りという部分も大切な時間で、お互いの考え方に触れることができるのだと思いました。

・ 目に見える障害があるが故に、健常者から見ると生活の多くの場面で不自由があるから「かわいそう」という考えが先立ってしまうのではないかと。

医療的なケアが必要な為に、医療が常に自分の命が隣にあるとき、自分ならどう思うか、想像してみた。この医療が命綱、これがないと生きていけない、そうまでして生きないといけないという問いと不安、複雑な思いがした。

しかし、その医療の力を借りるという点を除けば、一個人と何ら変わらない存在であるとも思われた。

運営会議報告 7月現在

[各部からの報告]

- 学習会
 - ・ 秋から冬にかけて上映会をやる予定
- 障害者部会
 - ・ ザ☆カイジヨの研修とかがあり、活動がなかったので報告する事はありません。
- 介護・介助人派遣事業部
 - ・ ザ☆カイジヨが無事に終わりました。
実習が、あと1人となりました。
- レクリエーション部
 - ・ 7月29日に顔を合わせて会議を行う。
 - ・ 8月中にオンライン飲み会をします。
- 障ちゃんニュース発行部
 - ・ 前回7月6日に無事発送しました。
 - ・ 印刷は8月8日、発送作業は8月21日からの予定。
- まっち発行部
 - ・ 原稿募集中。
 - ・ テーマは「キラッと光る涙」締切は8月末日、発行は9月中を予定。

- 5月より新しく正職員として西野陽子さんが入社されました。

- 事務所のお盆休み
 - ・ 8月11日～8月16日です。

- 次回の運営会議
 - ・ 8月22日（火）14:00～ 事務所にて。

報告者:先祖

2023年8月22日(火) 運営会議報告

◎ 各部からの報告

◇ 学習会：

11月18日(土)サンフォルテ307で河除静香さんのお話と「ひとり芝居」をやってもらう予定。学習会担当者が一人加わる。

◇ 障害者部会：8月は部会員の体調が悪いなどで行う事ができなかった。

◇ 介助・介護人派遣事業部：ザカイジョの在宅実習はあと一人残っている。

◇ レクリエーション部：

19日(土)にオンライン飲み会を行った。参加者7名。10月7日(土)に魚津のミラージュランドでバーベキューをやる。雨天の場合は「NPO法人ぴーなっつ」でバーベキュー。

◇ 障ちゃんニュース発行部：

発送作業進行中。今回16ページ。9月上旬発送予定。

◇ まっち発行部：

テーマは「キラッと光る涙」締め切りは8月末。発行は9月中の予定。テーマに関わらず皆さんが日頃思っていることをどしどし書いて「まっち係」にお寄せください。お待ちしております。

◎ その他

○ 障ちゃんニュースについて

今まで2か月に1回発行していたが、やはり2か月に1回だと行事が終わってしまっていることもあり、ニュースは新しいものを望むので、毎月送った方が良いという事で、次回10月発行から毎月発行ということになった。

○ ハンセン病問題で菊池事件の再審請求で署名を集めていた。ご協力ありがとうございました。

○ 障害者絵画展が10月7日(土)～9日(月)までに「アピア」で行われる。中村さんが出展予定。

○ 11月に事務所移転祝いを忘年会と歓迎会を兼ねて行いたい。場所は「オークスカナルパークホテル」を考えている。

次回は、9月26日(火)午後2時から事務所にて

報告者：森田

「障」ちゃんニュース視覚障害者の方へのメール配信

新規会員募集！！

文福の機関誌、「障」ちゃんニュースを紙媒体と平行して、メールにて配信を行っています。現在 15 名の方に配信しています。

内容を聞いてみたい方、配信を希望される方は下記までご連絡下さい。その際お名前とメールアドレスをお願いします。

内容は、写真やイラストを抜いて、音声ソフトで読み上げられるよう文章をゴシック体にて表記します。紙面での発送後 2 週間以内にメールで配信する予定です。パソコン・スマホ・タブレット対応になります。ガラケーは非対応です。今後も随時募集します。

このメール配信を通じて、より多くの方々に文福のことを知ってもらい、様々な情報を発信していきたいと考えています。またこれが、今の形だけではなく、違った方法での発信を模索するきっかけになっていければと考えています。

今後とも「障」ちゃんニュースをよろしくお願い致します。

問い合わせ・連絡先

NPO法人 文福

〒930-0138 富山市呉羽町7276-3

e-mail: bunpuku@ab.auone-net.jp

HP: <https://bunpuku.org/>

TEL/FAX (076) 460-0390

担当：森田





◆今後の予定◆

このコーナーでは、基本的に文福や他団体の今後のお知らせを載せていきますので、チェックして、たくさんの方々にお越し頂ければと思います。よろしくお願いします。

◎見えない 見えにくい人のための生活便利グッズ展示・相談会

日 時：11月23日（木・祝）10時から16時

場 所：中滑川複合施設メリカ1階フリースペース

（滑川市田中新町・富山地鉄中滑川駅前）

内 容：拡大読書器 携帯型読書器 ルーペや電子ルーペ

プレクストークなどの日常生活給付対象機器の紹介

音声パソコン ボイスオーバーを使つての 아이폰 操作体験

就労支援 教育相談 白杖の選択や歩行訓練

盲ろう生活相談 他

参加費：無料

お問い合わせ先：視覚障害者 IT サポートとやま

〒930-0097 富山市芝園町2丁目2-12

担当 入江さん（090-2378-6944）





ありがとうコーナー

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

今後もよろしくお願いします。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

今年の夏は、記録的な猛暑が続いて、危険な暑さという警報が毎日出されていました。

雨も降らないので、野菜が出来ないという話もあります。私の家にあるミョウガが水分不足で枯れてしまいました。暑さの影響で、出来るのがいつもより早かったのですが、来年に期待することにします。

皆さん夏バテは、大丈夫ですか？

秋の味覚でも食べて冬に備えましょう。

(アパッチ)

2023 年度新規会員・継続会員

山本 正子さま 堀江 節子さま 中山 君枝さま 中野 いくみさま
山岡 和夫さま 岡山 ひろみさま 青木 麻衣子さま 高場 千尋さま

カンパ

中野 いくみさま 青木 麻衣子さま

いただきもの

富田 静さま

発行人：北陸障害者定期刊行物協会 富山市今泉 3 1 2

編集人：特定非営利活動法人 ^{ぶんぷく} 文福

〒930-0138 富山市呉羽町 7276 番地 3

e-mail: bunpuku@ab.auone-net.jp

HP: <https://bunpuku.org/>

TEL/FAX (076) 460-0390

定価 50円

※文福の会員の方は、会費に購読料を含んでいます。